

宝の山だかもしんねなあ この自然は



棚田と生き物

この地域の魅力は棚田が多いこと。豊かな自然が保たれているのは棚田を管理する農家のお陰だと感じる。美しい棚田の景観も、一朝一夕にできたものではなく、何代にもわたる努力の積み重ねにより創りあげられてきた。この耕地で米を作っていくため、農家は、常に水管理に気を配っている。雷解けとともに水が張られた田んぼでは、カエルやサンショウウオなどが卵を産み繁殖する。棚田の管理は農家が気づかないうちに生き物の繁殖環境を整えている。そして、それらの生き物は生態系の底辺を支えている。ブナ林や野鳥、自然景観など、地域の宝物に子供たちが興味をもってくれるように伝えていきたい。子どもたちと一緒に歩いて、発見の喜びを共有したい。

「森の学校」キョロロの存在は大きい。地域の自然の素晴らしさを教えてくれたり、研究員が地道な調査を行って研究に取り組む姿をぜひ大勢の方から見てほしい。先端の研究に触れることができる貴重な存在だと思う。



エピソード



鳥好きになったきっかけがな、オラどこで新聞の発行を始めたばかりの頃に探鳥会の取材に行ったことだぜえ。1982年5月の松之山探鳥会。望遠鏡で見してもらったオオルリの姿に「こっけにきれいな鳥が世の中にいたあか！」と、大げさに言おんだら人生観が変わるぐれに感動したあてが。それから家の辺りや山に鳥を探しに出れえんなって、当時の会長に「こっけな鳥を見たぜ」と、発見を報告しれえんかったあそれ。情報交換が始まると、もっと面白くなったっけのあ。だでも今でも知らねことが増えるばっかだて。小学生と探鳥会に行った時、見たことのねえ鳥が出て「何ですか」って聞かれたあでも、図鑑を見たって分からなくて、答えらんねっけてが。いつ何が出るか分かんねどこが探鳥会の楽しみの一つだぜえ。新しい出会いを楽しみてなあ。

得意な分野

鳥類、自然観察

支援内容

1. バードウォッチング
2. ネイチャーゲーム
3. 田んぼの生き物しらべ
4. 野山探検
5. 天体望遠鏡の操作

私のBEST5

松之山の野鳥

第①位



山岳森林生態系の頂点に立つイスワシ
イスワシなど猛禽類の存在は自然環境の多様性を物語っている。その存在は最大だ。

第②位



人気ナンバーワンのアカショウビン
姿も鳴き声も美しいが、主にカエルを食べている。松之山の棚田と密接な関係がある。

第③位



絶滅の危機が叫ばれるブッポウソウ
保護対策活動で巣箱の架設が始まっている。主な餌はトンボやセミ、甲虫類。

第④位



林を守るアカゲラ
キツツキ類は木に穴を開けて中に卵を産み、キリムシなどの幼虫を食べている。

第⑤位



世界の珍鳥ノジコ
生息地は局地的といわれるが、松代・松之山は生息数も多く、ノジコの宝庫。

むらやま ゆういち
名前 村山 祐一

- 1981年 Uターンして、松之山の豊かな自然にあらためて気づく。
- 1982年 探鳥会でみた野鳥の美しさに衝撃的な感動を感じる。
- 1984年 土星とその輪を望遠鏡でみて星空探検を始める。
- 1994年 松之山探鳥会コース担当者、よちよちデビュー。
- 1996年 娘の自由研究でトンボのぬげがら同定を始める。
- 1999年 越後田舎体験環境学習インストラクターを始める。
- 1999年 (社)日本ネイチャーゲーム協会指導員の資格取得。
- 2005年 キョロロの活動で植物の開花季節調べに参加。

プロ
フィール